

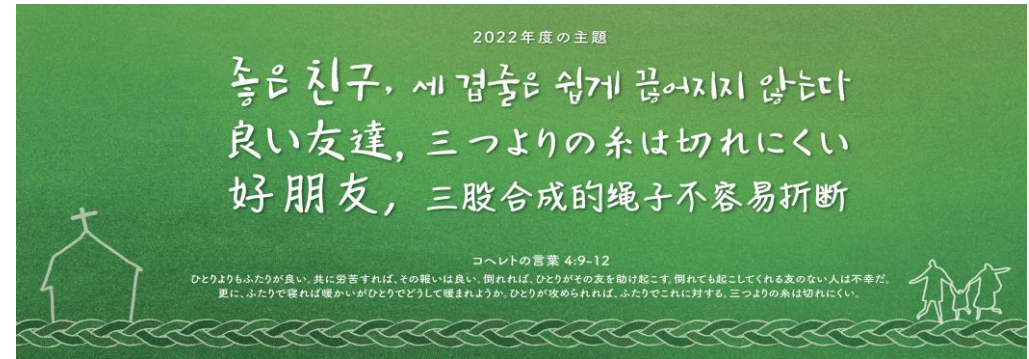
◆礼拝案内◆

礼拝	説教者	時間・場所	説教箇所・題
ラブリーキッズ	久保田 美穂	オンライン	使徒言行録 9 章 36 節-42 節 「やさしい ドルカス」
スマイルキッズ		9:00 ビジョン A	使徒言行録 9 章 36 節-42 節 「受けるよりも、与える方が幸い」
3部礼拝 (韓国語・通訳)	金 鉉	12:00 第一礼拝堂	出エジプト記 1 章 15 節-22 節 「出コロナ記;敬虔に生き抜く」
中高等部	阿久津 和生	13:00 ビジョン B	歴代誌下 1 章 6 節-10 節 「自分は何者であるのか?」
4部礼拝 (英語)	三澤 悠	12:00 ビジョン A	2Chronicles 7:11-16 “The Lord Appears to Solomon”
フレッシュ部	何 虹燕	10:00 ドリームルーム	出エジプト記 3 章 10 節 「神様に呼ばれたモーセ」
たき火のわ	胡 天訳	17:00 ドリームルーム	ヘブライ人への手紙 3 章 1 節-6 節 「神の家全体の中で忠実である」

◆教会共同体の祈禱課題◆

- ①コロナウイルス・季節の変わり目による体調不良などの不安がありますが、9月一ヶ月間、主の守りと平安がありますように。苦しみの中にある方々に助けと癒しが与えられますように。
- ②ウクライナの軍事侵攻が平和的解決されますように。パキスタンの洪水による被害が速やかに収まるように。
- ③教会のリーダーシップが成熟していく過程において聖霊の導きがありますように。
- ④English Ministry: 生活の場でいつも主なる神様を中心として歩めるように。リーダーリトリートが祝され、主の恵みと良きチャレンジを受ける時間となるように。

【Step by Step 通読の手引き】◆
 歴代誌上下一イスラエルの民がバビロン捕囚から帰還した後に書かれた書物。歴代誌がユダヤ教の聖書「タナク」において最後尾に置かれているという事実が、この書が書かれた目的を最も豊かに物語っている。捕囚後の民たちの状態は、彼らが真に望んだ状態とはほど遠いものであった。ゆえに彼らは、主なる神様は自分たちをまだ見捨てていないのか、契約はまだ生きているのかということに大いに不安に思っていた。そんな民たちに対して、歴代誌の著者は、過去を振り返ることによって未来の希望を指し示そうとしている。歴代誌の主題は、ダビデ契約に基づいた新しいメシアなる王到来の希望と、その王による新しい王国建設、新しい神殿建築の希望の 2 つである。この書の構成は以下である。①上 1-9 章【系図】; 鍵となる人物名をあげることによって旧約聖書全体の流れを要約している。系図の中で、ユダの子孫からダビデまでとダビデの子孫たちという王の家系とアロンの子孫で神殿に仕える祭司の家系が強調されており、これは歴代誌の主題に基づいている。②上 10-29 章【ダビデの物語】; ダビデを理想の王として描くことで、読者に、来るべきメシアは新しいダビデのような存在であるとイメージさせている。③下 1-36 章【エルサレムの王たち】; 神に従順な王と不従順な王、それゆえに彼らが受けた結果を描くことで、読者が過去の歴史から学び神と律法に忠実であるように招いている。歴代誌はペルシャ王キュロスによる帰還命令の言葉で終わっている。含みのある終わり方は、捕囚後の状態がゴールなのではなく、やがてメシアが到来して神殿を再建し新しい王国を立て上げることが真のゴールなのであるということを訴えるものである。歴代誌は私たちが未来を見るために過去を振り返ること、過去を根拠として希望ある未来を待ち望むことを促しているのである。(Bible Project 歴代誌 Chronicles【概観】)



礼拝案内

2部礼拝 10:00
 説教:堀江 佳奈 牧師
 司会:阿久津 和生 伝道師

前奏

招きの言葉・黙祷……………一同
 私たちの信仰告白……………使徒信条……………一同
 讃 美……………一同
 代表祈禱……………酒井葉執事
 私たちの祈り……………主の祈り……………一同
 聖書朗読……………歴代誌下 7 章 11 節-22 節……………司会者
 説 教……………「神との道行きで大切にしたい3つのこと」…堀江 佳奈 牧師
 献金讃美……………新聖歌 450 番……………一同
 献金祈禱……………司会者
 頌 栄……………新聖歌 63 番……………一同
 祝 禱……………説教者

後奏

歓迎の挨拶・お知らせ・共同体の交わり……………一同

※礼拝中に起立を促すことがありますが、各自の判断でお座りいただいても構いません。

ヨハン東京キリスト教会日本部
 担任牧師:洪石杓 担当牧師:堀江佳奈
 [〒169-0074] 東京都新宿区北新宿 4-30-2
 Tel.03-5338-6411 / Fax.03-5338-6414

◆お知らせ◆

【使徒信条】 我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン。

【主の祈り】 天にまします我らの父よ ねがわくは御名をあがめさせたまえ
御国をきたらせたまえ 御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ 我らの日用の糧を
今日も与えたまえ 我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく 我らの罪をもゆるしたまえ
我らをこころみにあわせず 悪より救いいだしたまえ 国とちからと栄えとは
限りなくなんじのものなればなり アーメン

◆2部礼拝御言葉◆

-歴代誌下7章11節-22節-

11:ソロモンは主の神殿と王宮を完成し、この神殿と王宮について、行おうと考えていたすべての事を成し遂げた。12:その夜、主はソロモンに現れ、こう仰せになった。「わたしはあなたの祈りを聞き届け、この所を選び、いけにえのささげられるわたしの神殿とした。13:わたしが天を閉じ、雨が降らなくなるとき、あるいはわたしがいなごに大地を食い荒らすよう命じるとき、あるいはわたしの民に疫病を送り込むとき、14:もしわたしの名をもって呼ばれているわたしの民が、ひざまずいて祈り、わたしの顔を求め、悪の道を捨てて立ち帰るなら、わたしは天から耳を傾け、罪を赦し、彼らの大地をいやす。15:今後この所でささげられる祈りに、わたしの目を向け、耳を傾ける。16:今後、わたしはこの神殿を選んで聖別し、そこにわたしの名をいつまでもとどめる。わたしは絶えずこれに目を向け、心を寄せる。17:もしあなたが、父ダビデが歩んだように、わたしの前を歩み、わたしがあなたに命じたことをことごとく行い、掟と定めを守るなら、18:あなたの父ダビデと契約して、『あなたにはイスラエルを支配する者が断たれることはない』と言ったとおり、わたしはあなたの王座を存続させる。19:もしあなたたちが背を向け、わたしの授けた掟と戒めを捨て、他の神々のもとに行って仕え、それにひれ伏すなら、20:わたしは与えた土地から彼らを抜き取り、わたしの名のために聖別したこの神殿もわたしの前から投げ捨てる。こうしてそれは諸国民の中で物笑いとなり嘲りの的となる。21:かつては壮大だったこの神殿に、そのそばを通る人は皆、驚き、『この地とこの神殿に、主はどうしてこのような仕打ちをされたのか』と問うであろう。22:そのとき人々は、『それは彼らが自分たちの先祖をエジプトの地から導き出したその先祖の神、主を捨て、他の神々に付き従い、これにひれ伏し、仕えたからだ。それゆえ、主は彼らの上にこのすべての災いをもたらされたのだ』と答えるであろう。」

日本部の mission statement

1. 私たちは、神様の子供とされた大切でかけがえのない一人一人が集まった共同体です。
-あなたは愛されるために生まれた人。
2. 私たちは、一人の問題を皆で祈り支えることで連帯し、共に泣いて共に笑う共同体です。
-信仰生活は団体戦。
3. 私たちは、この地上における神の国の現れと広がり仕える共同体です。
-宣教する教会。

■通読プロジェクト『Step by Step』

①今週の通読箇所はペトロの手紙第2章、歴代誌下1-6章です。

※注目ポイント→

歴代誌下 10:16-17「王国の分裂」;ソ ロモン王の息子、レハブアムが王になった時に、王国が2つに分裂するという悲劇が起こりました。イスラエルの民たちはヤロブアムを代表にたて、王に税金の改善を求めます。王は経験と思慮に富む年長者たちからと、自分と共に育った同年代の若者からの2つの助言を聞いた後、後者を採用しました。その判断を不服としたユダとベニヤミン(南ユダ王国)以外の10部族は北イスラエル王国として独立してしまつたのです。レハブアムが若者らの意見を採用した背景には、自分自身を大きく見せようとした高ぶりがありました。レハブアムの高ぶりは、私たちのうちにも確かにあります。神よりも自分を大きく見せたい思いです。しかし高ぶりは分裂を引き起こします。神と人、人同士の関係が引き裂かれたこの世界を一つにくれたのがイエス・キリストの謙遜と十字架でした。イエス様の謙遜に倣い、遣わされた場所で平和を生み出す源とされる私たちでありますように。

②LINEオープンチャットは黒いQRコードを、また公式Twitter「聖書からのつぶやき」はオレンジのQRコードからお入りください。公式Twitterのアカウント名は、@Stebastebaになります。



■たき火のわ

9/11(主)たき火のわ礼拝後に夜景巡りをします。

■Prayer Night

9月15日(木)19:50から、教会1階ドリームルームでPrayer Nightを行います。

ミーティングID: 838 7428 5441

パスコード: 637680

■執りなしの祈り

毎主日、祈りの箱を受付に置いています。Prayer Nightで兄弟姉妹に執りなして祈ってほしい祈り課題や、教職者に祈ってほしい祈り課題があれば、その旨を記入して入れてください。祈りの箱は、プライバシー保護のため、平日は事務室に置くようにいたします。

■新来者クラス

毎週2部礼拝後に新来者のための教会案内の場を設けています。新来者が来られる場合はぜひ教職者までご連絡ください。

■コロナ拡散防止について教会の対策

自宅での検温;コロナが感染拡大していることを踏まえて、聖徒の皆さんには教会だけではなく、**ご自宅でも検温して来るよう、よろしくお願ひ**いたします。

新型コロナウィルス感染者が出た場合の教会対応ガイドラインを変更しました。・感染者が出ても教会建物への**出入り禁止期間は設けません**。・**濃厚接触者と濃厚接触の疑いがある聖徒だけが1週間オンライン礼拝を捧げる**。館内でのマスク・入館時(正面玄関および通用口)における・検温と手指のアルコール消毒・礼拝や集い後の施設や設備の消毒・ソーシャルディスタンス・礼拝堂人数制限・換気・講壇アクリル板・飲食を伴う集いは教職者の指導のもと5つの小(少人数、小一時間、小声、小皿、小まめに換気)で行う。ただし、一階フレンズカフェでの食事は禁止です。

■多世代食堂「きたよん25(ニーゴ)食堂」

教会近隣の方々に神様の愛が伝えられるように、手作りのお弁当を教会1階フレンズカフェで配布しています。

対象:地域にお住まいで食事の助けを必要とする子どもから高齢の方まで。**事前予約の申し込み制**です。

日時:9月10日(土)16:30-18:00

担当:三澤悠伝道師